

「地域の力を学校へ」推進事業の実践例（平成24年度実施分）



テーマ
Theme

「交通安全教室
～交通ルールを守ろう～」

学校・園名
School name

甲賀市立小原小学校
(全学年児童)

講師等
Lecturer etc.

佐川急便株式会社

実施日
Date

平成24年5月23日

教科等
Subject etc.

特別活動(学級活動)

授業 Class

交通安全について、ポイントをしばってお話をしてくださいました。

●車の周りでは遊ばない。●車の下にボールなどが入ったときは、車の運転手さんか近くにいる大人の人に取ってもらう。●信号がある横断歩道を渡る時は、「赤」「黄」(また、歩行者用信号が点滅したとき)は止まる。「青」でも右を見て、左を見て、もう一度右を見て、車が来ないか確認をしてから渡る。

実際に、朝の登校を再現し、横断歩道を安全に渡る練習をしました。他にも、車の周りは運転手からはよく見えないということ(死角)を知るために、代表の児童が運転席に座り、実際に確認をしました。



感想 Impression

児童より Impression from Children

- 交通安全教室がありました。教え方がわかりやすかったです。知らなかったことをいっぱい教えてもらいました。教えてくれたことを守ります。信号機や横断歩道があって、実際に登校しているみたいで楽しかったです。
- 歩行者用信号のチカチカ(点滅のこと)の意味がわかってよかったです。ぼくは、今までチカチカは急いで渡れという意味だと思っていたけど、止まるということを教えてもらいました。
- トラックの近くの人が運転手さんからは見えないので、トラックの近くで遊ばないことや信号無視しないことを教えてもらいました。はこぶ君、かえる君、ぱんだ君(着ぐるみ)に実際にやってもらって、事故になる原因をなくそうと思いました。

学校より Impression from school

細かい打合せがもう少しできれば良かったなあと思いましたが、見慣れた教員ではない外部の方の指導ということが新鮮で、子どもたちの興味関心を引きつけていたように感じました。信号機やトラックがあることで、より臨場感があって子どもたちの印象に残る活動になったように思います。来年度は、低学年と高学年と分けて実施できるといいなと思います。

講師より Impression from lecturer

- 子どもたちの熱い視線を感じました。私はトラックの運転手として、勿論、事故・違反等ないようにしていきます。「子どもたちを守らなければいけない」という強い意識が芽生えた授業でした。
- 今回の授業で子どもたちとふれあい、少しでも交通安全に対する意識を持ってもらえたことと思います。みんな真剣に聞いて、大きな声で返してもらったのがとても印象的でした。また、参加させて頂いた当社も安全への意識がより一層高まり、また一緒に学びたいと思いました。

児童たちへ…「車(トラック等)は危ない」という意識を持って、今後、事故がないよう(事故ゼロとなるよう)に、道路は注意して渡ってください。